

製品名: SNAP29 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87483**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:10-1:100, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:29 kDa; Observed MW:29 kDa

抗原情報

遺伝子名	SNAP29
別名	CEDNIK; SNAP-29
遺伝子 ID	9342
SwissProt ID	O95721
免疫原	ヒト SNAP29 の合成ペプチド

背景

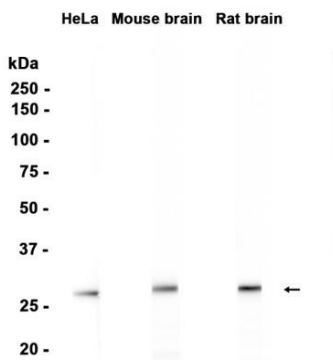
SNAP25 遺伝子ファミリーに属するこの遺伝子は、複数の膜輸送段階に関与するタンパク質をコードしています。この遺伝子ファミ

リーの他の2つのメンバーであるSNAP23とSNAP25は、シタキシンタンパク質に結合し、シナプス小胞膜のドッキングと細胞膜への融合を媒介するタンパク質をコードしています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、複数のシタキシンに強く結合し、細胞膜ではなく細胞内膜構造に局在しています。このタンパク質の大部分は膜結合型ですが、かなりの割合が細胞質内に遊離状態で存在します。この遺伝子では、複数のポリアデニル化部位が利用されていることが知られています。[RefSeq 提供、2008年7月]

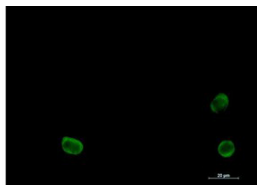
研究分野

-

画像データ



SNAP29 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa 細胞、マウス脳、ラット脳組織からの抽出物をウェスタンブロット分析しました。



AMRe87483 抗体 (緑) と DAPI (青) を使用した K562 細胞の免疫蛍光分析。

